



「ゲルマニウム半導体検出器（精密測定用）による米放射能検査」

測定時間別（定量下限別）の精密検査を提供

- (1) 検査は、すべて精密検査用のゲルマニウム半導体検出器で実施されます（簡易検査ではありません）
- (2) 検査は、原則2日（受託翌日）で完了。（受託当日完了の緊急検査も対応。割増費用は3,000円）
- (3) 精密測定（5.5時間計測）の提供を開始（受託可能数に制約がある為、希望される方はご相談ください）

日本人の主食である米の収穫が本格化する中で、「ゲルマニウム半導体検出器による精密測定」を迅速・経済的価格で提供。検査日数は2日（受託翌日）、当日完了も可能（割増有）米の残留放射能への消費者の不安が高まるなか、簡易検査装置ではなく、精密測定用ゲルマニウム半導体検出器による精密測定要望に応えます。ゲルマニウム半導体検出器の核種別高精度定量・核種特定の利点を生かし、迅速測定から精密測定まで、測定時間を個々に設定する事で、ご要望の定量限界・検出限界に対応した検査を提供します。

検査対象：米（玄米、白米、粳など）
検査区分：核種検査（Ge半導体検出器）
測定装置：ゲルマニウム半導体検出器
CANBERRA GC2020
ORTEC GEM20-70

測定方法：厚生労働省・緊急時における食品の放射能測定マニュアル（精密確定検査）

目標定量限界 (Bq/kg)：

33分測定：定量限界 10Bq 検出限界 1Bq

10分測定：定量限界 20Bq 検出限界 15Bq

5.5時間測定：定量・検出限界とも 1Bq 未満

定量限界は、検体の放射性物質量の量、種類などにより変動します。33分測定においては、定量限界以下でも放射性セシウムの含有可能性がある場合（スペクトル検出時）長時間測定により確定を実施。

詳しくは、分析業務部にご照会ください。

株式会社同位体研究所 分析業務部

TEL 045-718-5457 FAX:

045-502-4555

Email: test@isotope.ac

経済性と信頼性を両立させる放射能検査

測定時間と定量・検出限界（多核種存在時を除く）

分析種類	測定時間	目標定量限界	検出限界
精密測定(5.5時間)	20,000秒(5.5時間)	1 Bq/kg	1Bq未満
ゲルマニウム33分	2,000秒(33分)	10Bq/kg以下(5~10Bq)	1Bq/kg
ゲルマニウム10分	600秒(10分)	20 Bq/kg	15Bq/kg

検査所用日数：

	所用日数
精密測定	3-5日
ゲルマニウム33分計測	1-2日(当日報告確約は不可)
ゲルマニウム10分計測	1-2日(当日報告確約は不可)
緊急割増	確定で当日報告の場合

増設によりゲルマニウム半導体検出器6台の測定体制

次のようなニーズをお持ちの方々にお勧めします。

- (1) セシウム 137,134 を正確に測定したい方
簡易検査では、セシウム 137,134 の高精度定量はできません。
- (2) 簡易検査ではなく精度の高い精密検査を行いたい方
ゲルマニウム半導体検出器ならではの精密測定
- (3) 研究用に長時間測定が必要（20,000秒以上の測定も可能）
1Bq/kg 未満での精密計測に対応
- (4) 迅速に高精度検査をしたい方
受託翌日完了（米・牛肉のみ対応）、緊急時当日完了。

精密測定ながら、高い経済性を両立。

料金	一般	研究機関
研究用・精密測定(5.5時間) 定量1Bq以下	¥35,000	行政・研究機関の方は別途ご相談下さい。
ゲルマニウム33分計測(定量10Bq以下)	¥15,000	
ゲルマニウム10分計測(定量20Bq)	¥10,000	
ゲルマニウム10分計測で20Bq/kg以下でも検出があった場合の追加測定費用	¥5,000	
緊急割増(当日報告)	¥3,000	